

## 佐野短期大学シラバス2014

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
国際観光論 International Tourism		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	観光ビジネスマン必修	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
地域観光論、トラベルコーディネート				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
地域観光論、トラベルコーディネート				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
小舩 滋則	講師室	木曜日 10時から16時 (授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
日本人の海外旅行の実情、その背景と仕組みなどの基礎知識と、日本を訪れる訪日外国旅行者の動向や受け入れ側の課題などを学習し、国際観光の状況、意義、効果などを学びます。				
授業の目標				
海外旅行に必要な基礎知識を習得出来るようにします。また、国際観光を通じた国際交流のあり方について見識を深められるようにします。				
授業の方法				
講義が主体となります。				
学習の成果 (学習成果)				
この授業を履修すると、あなたは①日本人の海外旅行の実情および訪日外国人の動向や受け入れ課題に関する基礎知識を習得することが出来ます。②国際交流のあり方について見識を深めることが出来ます。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス・国際観光の概要説明			
第2回目	観光の始まり、観光の歴史			
第3回目	各国の観光の現状			
第4回目	わが国の観光政策と観光行政			
第5回目	日本人の海外旅行①			
第6回目	日本人の海外旅行②			

第7回目	ここまでのまとめと演習問題	
第8回目	訪日外国旅行者誘致の歴史 (明治時代から今日まで)	
第9回目	インバウンドの現状 ① (ビジットジャパンキャンペーン・訪日外国人旅行者の現況・他)	
第10回目	インバウンドの現状 ② (国際コンベンション・地域マーケットの特性・誘致と受け入れ課題・法律)	
第11回目	インバウンド関連産業の現況と課題①(旅行業・宿泊業)	
第12回目	インバウンド関連産業の現況と課題②(運輸業・観光施設・通訳ガイド)	
第13回目	外客誘致機関と新たな取組 (J N T O・その他関連団体・地方自治体・今後の展開)	
第14回目	インバウンドの実務①(予約依頼・仕事の流れ・依頼と回答の事例・他)	
第15回目	インバウンドの実務②(予約依頼・仕事の流れ・依頼と回答の事例・他)	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
授業参加態度	20%	授業で使われる教材を準備して臨んでいる。授業に集中し、必要なことはノートに取り、積極的に質問する。S評価の基準：上記参加態度を全て満たす上位トップグループ。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験	60%	15回目の講義時間に試験を行います。S評価の基準：S=90-100
発表内容 (態度含む)	20%	各人に与えられた学習課題の発表内容と態度を評価します(実施日時は、授業中に指示します)。S評価の基準：与えられた学習課題を十分にまとめ上げ、明瞭な発表を行った上位トップグループ。
その他		
教科書と参考図書		
「インバウンド概論」 ジェイティーパー能力開発		
履修上の留意点・ルール		
国際交流の意義を念頭において学習してください。		